

【令和4年度 次世代育成アカデミー 活動内容】

【次世代育成アカデミーの概要】

本市では、持続可能な行政の実現に向けて、本市の現状や課題に関する知識、見識等を習得し、エビデンス（証拠）に基づく政策立案を行うことのできる職員の育成を目的に、「次世代育成アカデミー」と題して研修を実施しております。（平成27年度から実施。）

この研修では、大学教授や庁内講師などから人口減少時代・情報化社会における「地方財政」、「まちづくり」、「AI・ICT技術」など、様々な教えを受け、本市の課題等に対して、エビデンス（証拠）に基づく政策立案を行います。

【令和4年度の活動内容】

1 大学教授等3人による特別講義

- (1) 秦野の現状と課題（帝京大学元教授：茅野英一氏）
- (2) 新総合計画の“秦野みらいづくりプロジェクト”から実施計画を提案（地域政策プランナー、産業能率大学元教授：斉藤進氏）
- (3) 自治体が変われば日本が変わる、など（東海大学教授：小林隆氏）



開講式



帝京大学元教授 茅野先生による講義



産業能率大学元教授 斉藤先生による講義



東海大学 小林先生による講義

2 特別研修

【ナッジ理論研修】神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室

【EBPM研修】自治体におけるEBPM及びデータ利活用推進の取組

総務省地域情報化アドバイザー家中賢作氏（つくば市職員）

3 ゼミ活動（3グループ）

3人の先生方から、30時間を超える御講義をいただいた後、3グループに分かれ、「人口減少時代における秦野市への提言」として、本市の課題に対する政策提言の研究をはじめました。各グループ、次世代育成アカデミー修了者のアドバイザーからの助言等をいただきながら、政策立案を行ってきました。

新しい取り組みとして、12月には、課長級職員（財政課長、契約検査課長、新型コロナウイルスワクチン接種推進課長、人事課長）を前に中間発表をし、講評をいただき、内容をブラッシュアップし、より良い提言となるよう意見交換等を行い、政策提言発表に臨みました。



中間発表

4 政策提言発表会

・令和5年1月27日（金） 議会第一会議室（コロナ禍により縮小会場）

1班【やりたいこと応援団～夢に近づくフィールドづくり～】

・財政課 田中 勇

・人事課 石井 慎一郎

・こども育成課 萩原 梓

・公共建築課 末廣 幸司

【アドバイザー】 総合政策課 小間 裕太

2班【HADANOKKO × KITCHEN】

・契約検査課 高橋 聡子

・生活環境課 糟谷 英介

・交通住宅課 横溝 悠士

・情報指令課 青木 季道

【アドバイザー】 はだの魅力づくり推進課 旗川 武

3班【秦野市防災事業等 - 「Phase Free」思想導入に向けた提案書-】

・市民活動支援課 賀美 詩織

・障害福祉課 前田 卓也

・建設総務課 加藤 俊明

・水道施設課 小宮山 克彦

【アドバイザー】 消防署警備第一課 七海 廣人

※ 秦野市公式YouTube「はだのモーピク」配信：令和5年2月10日（金）から